

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみんなはなまる向陽町教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月25日		2025年3月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年2月25日		2025年3月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高齢者と児童が同じ空間で過ごす	高齢者と児童は通常は別部屋で活動し、静かに過ごしたい高齢者の要望を保证しているが、季節のイベントや高齢者による寺子屋活動等で交流をしており、インクルーシブな支えあいを学ぶ取り組みとなっている。	寺子屋活動が月に一度となっているので、頻度をあげていく。
2	スタッフに専門職がいるため、プログラム内容が多彩で充実している	高齢者担当を含め、スタッフは児童指導員を中心に美術教員(2名)、看護師、柔道整復師、ヨガインストラクターと専門職が充実している。巧技台を使用した運動療育、また不登校支援にも取り組んでいる。	専門性の高いスタッフの在籍を強みとして、今後は親子で参加できるイベントを企画して行く予定。
3	高校卒業後に向けて社会性が見につく活動を提供している	部屋は区切られているが、高齢者と同じ空間で過ごすことにより、他児者との関わりの学びとなっている。就労支援施設や美術館、博物館、児童館等を利用することや係活動に取り組むことにより、コミュニケーション能力や社会性が見についていく。	より専門性を高めるための様々な研修への参加や情報共有をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関わりや交流が希薄である。	保護者や兄弟が参加できるイベントが少なく参加者も少ない。	保護者会は開催しているが、今後は兄弟姉妹も参加しやすいイベントとして企画をしていく。
2	地域の子供達との関わりが薄い	放課後児童クラブとの交流イベントに参加はあるが頻度が少ない。また児童館へ行き活動もしているが、保護者への認知が薄い。	活動の予定のみでなく、取り組みの報告も都度通信等でお知らせして行く。また地域や放課後児童クラブの交流イベントへの参加を、より推進して行く。